心のメッセージ１月

「公徳心」

元日の夕方、こたつに入ってのんびりと過ごしていたら、ＴＶの画面に「緊急地震速報です！」のテロップが流れた。ぼーっとした頭で、これは夢か？ドッキリいたずら？と思っていたら、リビングに吊っているオブジェが数分間ゆらゆら揺れ続けた。直感で思った。13 年前の感覚と同じだ。ここから遠い場所で大きな地震があったに違いない。

激甚災害が起こると、自衛隊や医療関係者が 1 次対応してくれるが、2 次対応以降はボランティアの人たちも集まってくれる。キッチンカーで炊き出しをしてくれたり、生活必需品を運んでくれたり、いろいろな形で行動してくれる。動画で温かい励ましの言葉や歌を送ってくれた人もいる。避難所では中学生も掃除をしたり、高齢者の話し相手になったり、幼児と遊んであげたり、子どもでもできることをしている。ドジャースと大谷翔平選手は 100 万ドルの寄付をした。「心・時間・お金」のどれかはみんな持っていると思う。大阪でも 5 年前の大型台風では、停電や瓦・看板などが飛んできて大変な被害があった。台風の後、家の前の道に飛んできた板や瓦や枝などの片付けを近所の人たちとしていたら「ゴミがあったら持っていきますよ。役所も忙しくてゴミの収集がいつあるかわかれへんから。」と軽トラで回ってきてくれた町内の若者たちがいた。とかく集団よりも個人を優先する現代社会において、進んで活動している姿にいたく感心したものだ。

今月の目標「公徳心」とは、「社会の一員としての自覚に基づき、公共のマナーや利益を守ろうとする心を指している。公共物を大切にすること、人に迷惑をかけないようにすること、公共の利益のために進んで奉仕することは、公徳心の表れと言える。」と説明されている。災害時の状況と普段の中学校生活では全く違うのだろうか？例えば、「教室にゴミが落ちていることに気づきました。あなたはどうしますか？」「自分から進んで拾う。」「人から頼まれたら拾う。」「その時の状況による。」「自分が落としたゴミではないから拾わない。」野村中学校のＧＯＯＤ ＪＯＢ！を考えるとどの行動がよいかわかると思う。個人を優先する現代社会においては、自分に関係ないという意識が強く、公共の場を大切にするために自ら行動することが必要であるという意識が育ちにくい。でも、行動に移した後の「やっよかった。」という気持ちを体験して欲しい。「自分だけやっても無駄だ。やりたい人がやればいい。自分がやらなくても誰かがするだろう。…」では、愉しみのない生き方にならないだろうか。

＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿組 名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿